

●芸術学部芸術学科のディプロマポリシー(学位授与方針)●

【平成26(2014)年度以降の入学生対象のディプロマポリシー】

※授与する学位は、学士(芸術学)です。

成安造形大学 教育目標(学士課程の学習成果に関する指針=学位授与の方針)

- 1 知識・理解(認知的領域)
 - (1) 芸術分野における基本的な知識を体系的に理解できる。
 - (2) 芸術分野の知識と自己の存在を歴史・社会・自然と関連付けて理解できる。
 - (3) 多文化・異文化を理解し、多様性を尊重できる。
- 2 技能(精神運動的領域)
 - (1) 日本語や特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。自分の考えを伝えることができる。
 - (2) 情報通信技術を利用して、多様な情報を収集し、的確に把握し、発信することができる。
 - (3) 専門分野において基礎的な造形能力を身につけている。
 - (4) 問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理することができる。論理的思考力によって、解決のための計画を立案し、実行できる。
- 3 態度・志向性(情動的領域)
 - (1) 自らを律して行動できる。指示を待つのではなく、やるべきことに積極的に取り組める。
 - (2) 他者と協調して行動できる。他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。
 - (3) 卒業後も自らを律して学習できる。
 - (4) 自己の良心と社会の規範に従って、誠意と熱意を持って行動できる。
 - (5) 社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を理解し、社会に貢献できる。
- 4 創造性(総合的・実践的領域)
 - (1) 獲得した知識・技能・態度等を総合的に活かし、研究制作成果を提示できる。
 - (2) 専門分野における経験を活かし、自らが立てた課題において創造的提案ができる。

【平成25(2013)年度以前の入学生対象のディプロマポリシー】

※授与する学位は、学士(芸術学)です。

デザイン・美術・工芸分野の諸領域を包括的に芸術ととらえ、その芸術の理論と実践、それらの歴史的・理論的研究、支援・普及の手法の研究をすすめ、専門分野に特化したスペシャリスト、幅広い知識と技能を身に付けたジェネラリスト、バランス感覚に優れたクリエイターの育成を教育目標とした、各専門分野を横断して学べるカリキュラムを編成し、卒業までに所定の単位を修めた学生に対し卒業を認定し、学位(芸術学士)を授与する。

●造形学部デザイン科のディプロマポリシー(学位授与方針)●

※授与する学位は、学士(芸術学)です。

「デザイン」を科学・技術と人間との調和のためのメディアとして積極的に捉え、自らが柔軟な発想、思考、感性に基づき「ものづくり」「ことおこし」のできる人材育成を教育目標とした、一つの専門分野に固守することなく多様化し拡大するデザインの領域を総合的に把握、学べるようなカリキュラムを編成し、卒業までに所定の単位を修めた学生に対し卒業を認定し、学位(芸術学士)を授与する。

●造形学部造形美術科のディプロマポリシー(学位授与方針)●

※授与する学位は、学士(芸術学)です。

美術表現が、常に時代と不可分に共存しているという認識に立ち、その歴史的展開と発展過程を学習・研究する。現代日本社会が求め、世界が期待する日本独自の表現の可能性を追求する一方で、芸術文化の「良き鑑賞者」「良き享受者」の育成を教育目標とした、各専門科目の必修科目において基礎から応用、展開への技術と方法、思考、発想などを学べるカリキュラムを編成し、卒業までに所定の単位を修めた学生に対し卒業を認定し、学位(芸術学士)を授与する。